英語	第３学年	安芸太田町立加計中学校	指導者　小笠原督子 ALT　Edel Carleton

単元名

Unit5 Electric Dictionaries – For or Against

本単元で育成する資質・能力　コミュニケーション能力，論理的･建設的批判能力，主体性･積極性

１　単元について

（１）生徒観

本学級の生徒は，音読練習や ALT との授業を好み，意欲的に言語活動に取り組むことができる。これまで「日記」や，「行ってみたい国」など一定の文量を決めて文章構成を考えて書き，伝えあう活動をしてきており，毎週１回の Creative　Writing の課題も習慣化してきた。自分の思っていることを伝えるために，積極的に辞書で調べ，イラストや写真など資料を使って表現することもできるようになっている。２年次には「わが町紹介」のスピーチ発表を，３年次には Unit2 のまとめとして３人組でインタビュースキットを作り，発表会をして気づきを交流しあう活動を取り入れた。また，「中学生の昼食には給食と弁当のどちらがいいか。」について読み取ったことをもとに，意見文を書く活動では論理的に書くことを意識して取り組んだ。

教科の学習に関する調査における生徒の肯定的回答は以下のように推移している。

	質問項目	２年次 ６月	３年次 ５月
(1)	英語の授業で学んだことを，普段の生活で使ったり，学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。	57.7%	96.1%
(2)	分からない単語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は，辞書を使って調べています。	76.9%	84.6%
(3)	聞いたり読んだりしたことについて，メモを使ったり，感想や意見などを話したり書いたりしています。	30.8%	61.5%
(4)	英語で文章を書く時は，自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，一文一文を正しく書くとともに，文と文のつながりに注意しています。	76.9%	92.3%

英語を使って自己表現しようという意欲や態度は向上しているが，「聞いたり読んだりしたことについて，メモを使ったり，感想や意見などを話したり書いたりしています。」の項目は依然として低いことから，相手の話を聞いて答えたり，自分の考えを伝えたりする活動を通して即興力を高めることが課題である。

（２）　単元観

本単元では，電子辞書を使用することについての話題を取り上げ，電子辞書のメリット，デメリットをインターネット上で意見交換するという教材である。新出言語材料は”I don’t know what you mean.”などの「間接疑問文」や「後置修飾」を使った表現である。これらの新出言語材料を含め，　２年時に学習した I think that　～, I don’t think that～. のような賛否を表す表現を使用することにより，自分の意見や考えを表現しようとする態度や的確に表現することができる能力の育成を図ることができる。

本単元は中学校学習指導要領「ウ読むこと」の指導事項の「(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができるよう，書かれた内容や考え方などをとらえること。」に位置づけられている。また，「読むこと」だけでなく，グループ内でお互いに感想を述べ合ったり，賛否を表明しその理由を添えたりすることで，「ア聞くこと」「イ話すこと」の指導につなげることができ，生徒の主体的な学びを育むことが期待できる。本単元の終末において，発展的な課題として「中学生に携帯電話は必要か。」について協調的な学習を取り入れる。生徒にとってより身近な話題について

意見を交換させる活動を仕組むことでコミュニケーションへの 興味・関心を高めるのに適した題材であると考える。

（３）指導観

指導に当たっては，協調学習（知識構成型ジグソー法）を通して，テーマについて多面的に考え，対話を通して結論を導くことができるよう次の４点について特に留意する。

①課題設定の工夫　生徒に身近なテーマである「携帯電話使用上の留意点」を取り扱う。

②情報の収集→整理・分析の工夫　英語で書かれたエキスパート資料３種類を読み解き，賛成・反対それぞれの情報とその理由を整理させる。

③整理・分析の工夫「賛成」「反対」のそれぞれの情報を理解したうえで，「携帯電話使用上の最善のルール」について時間制限，場所，場面，禁止事項などの項目にそってまとめる。

④実行の工夫　グループでまとめたルールを全体発表した後 ALT の英語による質問に答えさせる。

２　単元の目標

間接疑問文や後置修飾を使って，積極的にコミュニケーション活動に取り組む。

（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

議論する場面設定において，英語で説明したり，意見を述べ合ったりして結論を導くことができる。

（外国語表現の能力）

話されたり書かれたりした文を理解し，必要な情報を得ることができる。（外国語理解の能力）

後置修飾の意味，用法を理解し，使うことができる。（言語や文化についての知識・理解）

３　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・辞書を用いたり，情報を整理したりして意欲的に取り組んでいる。 ・グループ活動に協力して積極的に取り組んでいる。	・論理的に意見をまとめ，聞き手を説得するように意見文を書くことができる。（８文以上） ・グループでお互いに説明したり，説得したり，意見を述べ合ったりして結論を導くことができる。 ・質問に対して答えることができる。	・聞いたり，読んだりした内容について正しく理解することができる。 ・書かれた内容を読み取り，賛否のそれぞれの主張を正しく理解することができる。	・後置修飾，間接疑問文の意味・用法を理解している。 ・議論をする際の表現を理解している。

４　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい能力は，①コミュニケーション能力　②論理的・建設的批判能力　③主体性・積極性　④回復力・耐える力　⑤自らへの自信　⑥高い志　の６つである。本単元では　協調学習の手法である知識構成型ジグソー法を用いて，仲間と主体的に問題解決に取り組むことで①「コミュニケーション能力」を育成することができると考える。また，携帯電話使用についての賛成・反対それぞれの意見を交流するなかで②「論理的・建設的批判能力」③「主体性・積極性」を育成できると考える。

５　指導と評価の計画（全９時間）

数 時間	学　習　内　容	評価					
		関	表	理	知	主な評価規準・【評価方法】	資質・能力の評価
1	Starting Out ・後置修飾を用いた文の形，意味，用法を理解する。 ・新出単語，語句を理解する。　(P.54)			○	◎	・後置修飾を用いた文の意味を場面の中で理解している。 ・聞いたり読んだりした内容について正しく理解することができる。　【ノート】	
1	Dialog ・間接疑問文の形，意味用法を理解する。 ・新出単語，語句の理解 ・会話文を読み取り，正しく理解する。(P.55)			◎	○	・間接疑問文を場面の中で理解している。 ・聞いたり読んだりした内容について正しく理解することができる 【Q&A ワークシート，ノート】	
2	Reading for Communication　議論に参加しよう ・電子辞書について議論されている内容を理解する。　(P.56-57)			◎		・書かれた内容を読み取り，賛否のそれぞれの主張を正しく理解することができる。【ノート】	
1	Review Tool Box を参考にして電子辞書についての議論に自分の意見をまとめる。 (P.58)		◎		○	・議論をする際の表現を理解している。 ・電子辞書と紙の辞書を比較して自分の意見を書くことができる。(６文以上) 【ワークシート】	
1	課題の設定 「中学生に携帯電話は必要か？」について賛否の資料を読み取り，メモをとる。 【エキスパート活動】	○				・辞書を用いるなどして積極的に理解しようとしている。 【ワークシート，メモ】	①コミュニケーション能力
1	情報の収集　整理・分析 前時までにまとめたメモをもとにして結論を導く。 【ジグソー活動】	○	◎			・グループ活動に協力して積極的に取り組んでいる。 ・グループ内でお互いに説明したり，説得したり，意見を述べ合ったり譲歩するなど「意味のやりとり」をして，結論を導くことができる。【ワークシート】	②論理的・建設的批判能力
1	実行 話題について議論する。 【クロストーク】(本時)		◎			・グループでまとめた意見を発表したり，質問に理由や根拠を示して答えたりすることができる。　【活動観察】	①・②
1	まとめ・ふりかえり 単元のまとめ		◎			・話題”What should we do when we use cell phones?”について自分の意見を書くことができる。(８文以上)【原稿】	① ③主体性・積極性

６　本時の学習（第８時/９時間）

（１）本時の目標

○外国語表現の能力

グループでまとめた意見を発表し，その後，質問されたことに理由や根拠を示して答えることができる。

（２）準備物　　ワークシート，タイマー

（３）学習展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価
導入	1　課題意識を持つ。 2　本時のめあてを確認する	○ジグソーグループで考えた内容を他のグループに伝えたり，質問に答えたりするなど意見を交流した後，自分の考えをまとめて書くことを確認する。		
本時の目標：“ What should we do when we use cell phones? “「携帯電話は使う時，何に気をつけるべきか。」について理由や根拠を明らかにして提案したり，質問に答えたりしよう。				
展開	3　パフォーマンス評価の項目を意識して発表の準備をする。 ①はっきりと大きな声 ②目線・態度 ③Visual Aids 4　全体発表をする。 5　ＡＬＴからの質問に答える。 クロストーク	○前時のジグソーグループで作成した「携帯電話使用ルール」を発表する準備をする。【共感的な人間関係を育成する】 ・自分達の主張を証拠や情報を用いて根拠を明らかにしている。 ・クロストークの際に質問されそうな事を予想して，答える準備をしておく。 ○グループごとに前に出て，発表する。 ・作った英文を読むだけでなく，説明を加えるよう支援する。 ・後で質問に答える際の準備をさせる。 ○ALT の質問をメモし，答える準備をする。 ・話し合いは日本語でよいものとするが，応答は英語でするように支援する。 ・ALT の質問に答える時は即興性が求められるため，完璧な英語でなくてもジェスチャーや Visual Aids を使って伝えようとすることが大切であることを理解させる。	グループでまとめた意見を発表したり，質問されたことに理由や根拠を示して答えたりすることができる。 （活動の観察）	①コミュニケーション能力 ②論理的・建設的批判能力
終末	6　ふり返り ○家庭学習の確認をする。 ○あいさつをする。	○携帯電話使用時のルールの中で自分が１番大切だと思う順番に意見をまとめて書く。 ・これまでのエキスパート，ジグソー活動，クロストークを振り返り，資料等を参考にしながら書くことを確認する。 ○振り返りシートに自己評価させる。 ○家庭学習への見通しをもたせる。	ワークシート	

エキスパート資料【シート A】

Junior High School students can use cell phones, because …

It's very convenient.

☐1 Cell phones have many convenient functions.

☐2 We can watch TV, listen to music, take pictures and surf the internet on the phones.

☐3 We can also exchange e-mail, and download music.

☐4 We can do homework with the help of the internet and dictionary.

☐5 We can call for help quickly in an emergency or when we get into trouble. Recently we can't find public phones.

It's a useful and good communication tool.

☐6 Using a cell phone is the easiest and quickest way to communicate.

☐7 When we need to contact our friends, it's very quick and straight forward.

☆For example, My best friend lives far from here. We can't meet very often. I miss her. But every day I can talk with her using my cell phone.

☐8 It's not so expensive because we get a discount.

☐9 Sending messages is free.

It's one of the necessary tools for the Global World.

☐10 The World is becoming smaller and smaller and people can share lots of information at one time.

☐11 Junior High School students should learn how to live in this international world.

☐12 We are living in a global world, we should know the world news and catch up with the latest topics.

エキスパート資料【シート B】

Junior High School students should not use cell phones, because…

It is dangerous.

1 security of information

☐1 Some internet links are not safe.

☐2 They will ask them to pay a lot of money.

☐3 They may get some dangerous mail.

☐4 Their personal information, (pictures, address, phone number) can leak.

☐5 They may have trouble with too much junk mail.

2 It may lead to some accidents or trouble

☐6 People using cell phones are not careful.

☐7 Their interest is focused only on small screen and they pay little attention to other people around them.

☐8 Many accidents and crimes are caused by people using cell phones.(car crashes)

☐9 There are many people using cell phones in public.

☐10 They keep talking or using cell phones while walking, getting on the trains buses or even at the restaurant and hospital.

☐11 These people may be caught in accidents or get other people in trouble.

エキスパート資料【シート C】

Junior High School students should not use cell phones, because…

It's bad for their health.

☐1 They will have bad eyes or headaches if they keep using it so long.

☐2 The students are using cell phones every day for a long time and even at midnight they exchange messages and they don't get enough sleep.

☐3 They will confuse their body clock. 体内時計

☐4 Some of them cannot keep time well. 時間を守る

Some users have bad manners.

☐5 It's bad manners to keep their friends awake by sending messages very late.

☐6 Many students send messages to each other and can't stop. They don't know when to stop.

☐7 It may be used for bullying others. いじめること

☐☆For example,some people block one person from the group.

poor communication style

☐8 Face to face communication is more important.

☐9 They should learn how to communicate well.

It's a waste of time and money.

☐10 It is very expensive and wasteful.

☐11 The students using cell phones more than 3 hours a day can't concentrate during classes and their test scores are very low.